

りを感じるものです。

昭和四十八年五月十一日、裁判とはどんなものかもよくわからぬまま、たまたま災害責任の追及へ

三池芳組の指導と、全国の仲間が消えようとしているとき、怒を新たに、闘いを強めて行きま

またひとりのＣＯ患者の命の消えようとしてみると、三年間をふりかえってみると、

よう。